

# WVA ニュースレター — 2021年12月

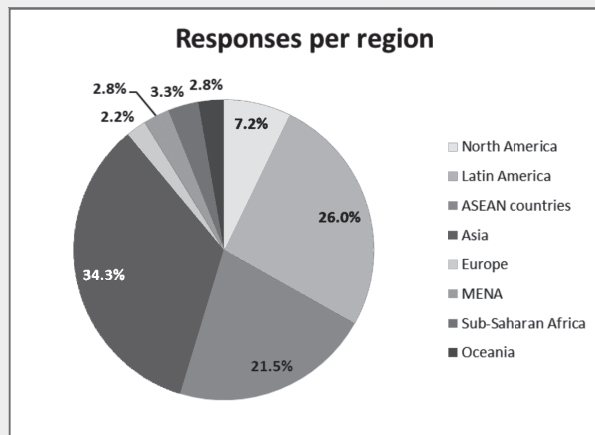
## WVA 会長からのメッセージ：パトリシア・ターナー



仲間たちへ

COVID-19の課題は続いています。2021年は世界獣医師会にとって、いくつかの主要プロジェクトの立ち上げや、委員会メンバー、パートナー、スポンサーとの多くの活動の継続など、多忙な年となりました。以下にいくつかの活動の進捗状況を紹介いたします。

1月、WVAは獣医学教育-戦略的フォーカスグループを通じ、AAVMCの国際獣医学教育委員会(CIVME)の資金援助を受けて、教育プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトの目的は①各国の獣医科大学及び獣医学認定機関または協会(協議会)のリストを作成すること、②各国の獣医科大学を対象に、獣医学部のカリキュラム開発及び更新、教育の質の評価基準、プログラムの内部及び外部レビュー、国や地域の獣医師の人材を満たすための戦略について調査すること、③正式な認定制度のない地域や国で獣医学部が使用できる自己評価ツールを開発することです。グローバルリストを作成し、2021年の7月から10月にかけて、獣医科大学にアンケートを送付しました。世界の180以上の獣医学機関から、約250件の回答が寄せられました。その地域別の内訳は図のとおりです。回答の分析は現在進行中で、2022年3月に開催されるWVA大会で詳細な報告を行う予定です。ご協力いただいた回答者の皆さまに感謝いたします。



自己評価ツールが開発され、2021年9月に開催されたOIEの認定に関する獣医学教育設立の小地域仮想ワークショップの一環として発表されました。このツールは、世界中の非認定獣医学部に対する基準策定の段階的な進行を支援することを意図しています。

2021年5月、WVAは、FAO及びHealthforAnimalsと共同で、「獣医療のパラプロフェッショナル(VPPs)を養成するためのサステナブル・ビジネス」という新しいプロジェクトを開始しました。このプロジェクトは、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの助成金を受けており、VPPの動物保健サービス提供能力の向上を通じて、獣医学的サービス提供システムを強化することを目的としています。

プロジェクトの内容は、VPPの持続的なトレーニングと能力習得のためのモデルを評価し、提供するものです。このプロジェクトに試験的に参加する国として選ばれたのは、ナイジェリア、南アフリカ、ウガンダの3カ国です。

3つ目の大きなプロジェクトは、薬剤適正使用-戦略的フォーカスグループが担当したもので、食用動物の必須医薬品リストの作成です。このプロジェクトは2021年9月に開始され、動物種に焦点を当てたワーキング

ググループは、このプロセスの一環として、地域の医薬品及び生物製剤の使用に関する調査を行いました。このプロジェクトは、2022年初頭に終了する予定です。

ワンヘルス-戦略的フォーカスグループは、2021年に食料安全保障に関するバーチャル会議をサポートしたほか、さまざまなポジション・ステートメントや鳥インフルエンザに関する新しいファクトシートの作成にも取り組みました。COVID-19のパンデミックが続いていることから、WVAは2021年7月に国際獣疫事務局(OIE)と連携して、獣医師を必須のヘルスワーカーとして、ワクチン接種の優先順位を確保するよう、世界各国の政府に嘆願する声明を発表しました。

WVAの動物福祉戦略フォーカスグループは、治療用及びバイオ医薬品生産のための馬の使用、食用動物の痛み、動物の処分、短頭種の犬に関連する福祉問題に関するポジション・ステートメントとファクトシートをそれぞれ作成し、動物福祉を支援する上での獣医師の役割に関するポジション・ステートメントを更新するなど、多忙な日々を過ごしました。

WVAは、さまざまなパートナーやスポンサーと協力して、世界獣医師会賞(HealthforAnimals)、世界動物福祉賞(Ceva)を今年も開催し、また獣医学生奨学金(MSD)の選考を支援することができました。さらに、WVAはHealthforAnimalsと提携して、2021年のアニマルヘルスにおけるイノベーションに関するウェビナーを共同開催し、またWHO/FAO/OIE三者協定によるグローバルヘルスの専門家を対象としたOne Health フィールド疫学トレーニングプログラムを支援してきました。また、WVAはAction for Animal Health Coalitionの一員として活動を継続し、10月のC20市民社会サミットでセッションを開催したほか、G20会議では動物の健康に関する協調的なグローバルアクションの必要性について出席者にロビー活動を行いました。

これらは、過去1年間のWVAの活動のほんの一部です。このような活動は、献身的な事務局のサポートなしには不可能であり、10月にはEmma van Rooijen氏をWVA政策官として迎え入れることができたことを嬉しく思います。私たちは、すべての加盟団体、専門家のボランティア、パートナー、スポンサーの継続的な支援に大変感謝しています。困難な時期であっても、協力し合うことで、世界中の獣医師のために多くのことを達成することができるのです。3月末にアブダビで開催される第37回WVA大会で、会員の皆さまにお会いできること、また新たな出会いがあることを楽しみにしています。

WVA評議会と事務局を代表して、皆さまとご家族の新年の平和、喜び、そして健康をお祈りします。

敬 具  
世界獣医師会 会長 パトリシア・ターナー

WVAは、世界の公益のための獣医師としての役割について、まとまったメッセージを世界に発信するために、皆さまの専門知識と意見を必要としています。WVAの会員及びオブザーバー会員のご意見をお待ちしています。このプロセスから取り残されないようにしてください。

このニュースレターを貴会会員に伝えてください

ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

**WVA**

Avenue de Tervueren 12, 1040 Brussels, Belgium

ウェブサイト：[www.worldvet.org](http://www.worldvet.org) 電子メール：[secretariat@worldvet.org](mailto:secretariat@worldvet.org)

